

校報

ましみず

合併号
掛合小学校
平成20年12月発行

第二学期の終了にあたって

校長 富田真樹

様々な成果が見られた第二学期が本日で終わりました。授業日数は七十八日。第三学年加藤真弥さんが転入し、全校児童数は百七十四名となりました。

開校初年度の今学期も、運動会、学習発表会などの学校行事をはじめとしての活動も大きな成果を挙げることができました。すべてが初めての取り組みであり、実施にあたっては不安な面もありましたが、子どもたちの頑張りと保護者、ご家族の皆様、地域の方々のご協力により、それぞれの活動は初期の目的を充分に達成し、掛合小学校としての一体感を強く感じることができた第二学期になったと思います。

また、学校周辺の安全については一学期に引き続き、掛合総合センター(雲南市建設部)様はじめ関係ご当局のご尽力があり、それぞれの面で安全性が一段と高まりました。

後援会様をはじめ、地域の皆様方からありがとうございました。寄贈もありました。(詳しくは次号で紹介いたします。)

二学期の主な活動について、この後それぞれの項目ごとに概要等を紹介いたします。

お寄せいただいたご厚意、ご理解とご協力に心からお礼申し上げます。ありがとうございました。

運動会

九月二十八日(日)

第一回運動会は、天気にも恵まれ予定通り行うことができました。一、二年生は五十メートル、三年生以上は八十メートルで行う徒競争や色別対抗綱引き、上、下学年の部で行った色別全員リレーに低、中、高学年別に行った親子種目、そして、応援合戦。どの種目も懸命に競技する子どもたちと、そして熱心に応援をしてくださる保護者、ご家族地域の方の姿がありました。

写真左 2年生50m走
スタート前には一人一人が呼名されました。

写真下右 低学年親子種目

写真下左 色別対抗綱引き
で頑張る緑組



日記から

「運動会」

今日、運動会がありました。私が一番心に残ったのは、つな引きと応えん合せでした。つな引きでは四位だったけど協力できてよかったです。応えん合せでは、私達黄色が一番声が大きかったそうで、うれしかったです。総合成せきは四位でした。

でも、がんばったし、協力もできたのでよかったなと思いました。

五年 高尾真友

本物の舞台芸術体験事業

十月九日(木)

全国の小・中学校等を対象にして、文化庁が毎年実施しているこの事業を、開校記念にということで申請をした結果、雲南市教委、島根県教委の計らいで本校での公演が実現しました。(雲南市内では、他の文化団体による本事業が本校以外で二校行われています。)

上演したのは、神戸市に本拠を置く劇団道化座。モンゴルを舞台にした作品「スーホの白い馬」を、一人が何役も受け持つ独特のスタイルで上演されました。この公演に先立って、五年生を対象としたワークショップが九月十一日に行われました。

また、当日は掛合保育所夢の子園のさくら組のみなさんと、掛合分校の一部の生徒さんと、同行された先生方、多くはありませんでした。保護者の皆さんも観劇されました。

感想文から (編集者による省略があることをご了承ください。)

スーホの白い馬のげきを見て

三年 佐藤 冨江

今日の五時間目に、スーホの白い馬を見ました。さいしよ、げきがはじまる前に、どんなげきかなあと思いました。さいしよにおにいさんとおねえさんが出てきて、歌のれんしゅうをしました。わたしは、じょうずに歌えたいと思います。ステージの大きなカーテンがひらいたらすごいと思いました。ステージをずっと見ていたら、音楽がなつて家みたいなものが動いて、人がいっぱい出てきました。(中略)

わたしは、げきだんの人も五年生もがんばっていたと思います。わたしは、さいしよ、ただのげきだと思っていたけど、見ているうちにすごいげきだとわかりました。また、げきを見たいです。

「スーホの白い馬」の感想

五年 原 葉奈美

(前略)

本番では、あまりきんちようせずに練習よりも大きな声が出せたような気がしました。私のいとこもミュージカルをしていて、何回か見たことがあっていつもすごいなあと思っていたので今日は、いとこのミュージカルみたい大きな声ではつきり言おうと思いい本番にのぞみました。道化座の

みなさんはマイクなしで体育館じゅうにひびいていてすごいなあと思いました。

今日はすごくいい体験をしました。道化座のみなさんにはいろんなところでお世話してくださったり、練習をしたりしていて、プロはやっぱりすごいなと思いました。

今日はすごく楽しかったです。

スーホの白い馬の感想

五年 福田 誠

スーホの白い馬の公えんがありました。

ついに始まりました。少しセリフを言つてついに出演が来ました。きん張しながら一歩一歩と歩いて行きました。そして第一声を発しました。けっこう良い声が出ました。リラックスがけっこうできて、顔も笑ってできました。そして歌。ゆれもバッチリだったし、声もみんなががんばって出していたので大成功でした。その後のげきも見てとってもハキハキとした声で分かりやすかったです。心にもひびいてびっくりしました。とっても大成功でした。えんぎで心を一つにできました。またやりたいなと思いました。

感想文にもあるように、この上演では五年生が劇の冒頭の場面で、出演しました。歌は会場の子どもたちも一緒に歌いました。



舞台前面で歌う5年生児童

掛合ふるさとまつり

「うん、どうかい？」

十月十二日(日)

秋晴れの好天のもと、賑やかに行われた「ふるさとまつり」には、「うん、どうかい？」での競技や掛合音頭、掛合太鼓揃い打ち、作品展示会への出品という形で参加しました。

掛合太鼓の揃い打ちは、昨年までの町内五小学校連合というスタイルから、掛合小学校五、六年生出演に変わりましたが、総勢四十九名の子どもたちは元気なばちさばきを披露しました。



11月24日(月)にアスパルで行われた雲南市太鼓フェスティバルにも出演しました。

今年、四年に一度の掛合町運動会も行われました。各コミュニティ(地域)に所属して参加するという考え方で、各地区の応援場所に分かれての応援・見学でした。授業日にしたので、地域の催しに授業日扱いで参加することの難しさも感じました。例えば、開会式における参加態度や出店での買い物、食べ物の扱いなどについての指導面です。授業であるので、参加(出席)している児童には公平性(機会均等)を保障しなければなりません。一方で、地域のイベントに進んで参加し、出店されている方々やお世話されている地域の方々と交流をすることもまた大切な学びの場です。閉会式前に小学校だけで帰りの会をしたこと、結果的には現地解散になった下校のあり方などと併せ、検討しなければならぬ課題も残りました。

学習発表会

十一月二十三日(日)

発表した演目は次のとおりです。

◎ オープニング

- ☆ はじめのあいさつ (一年)
- ☆ はやしこ太鼓 (五・六年)

◎ 発表

- ☆ 劇「サラダでげんき」(一年)
- ☆ 国語科発展学習「名前を見てね、聞いてね!」(二年)
- ☆ 劇「おおきなかぶ」(わかば)
- ☆ 福祉交流体験まとめ「Let's go 三年生!」(出会い、ふれ合い、かがやけいのち)
- ☆ 朗読「愛の心とどけます」(三年)
- お話「永井隆物語」(平和は人を大切にするところからはじまる) (わくわくお話隊 with どんぐりっこ)
- ☆ 劇「身近な食べものの話」(五年)
- ☆ 国語科発展学習「特別番組『新・掛合小学校は今!』」(六年)
- ◎ フィナーレ
- ☆ 全校合唱「クリスタルチルドレン」(全学年)
- ☆ おわりのあいさつ (六年)

特にテーマを設定した訳ではありませんが偶然にも、各学年の発表をはじめ、特別出演をしていた「わくわくお話隊」のお話まで、それぞれが、「人を大切に思う心、いのち、愛、感謝」という言葉で結ばれるような発表でした。

保護者の方からは、それぞれの発表について、心温まる感想をたくさん寄せていただきました。なかでも、フィナーレの全校合唱「クリスタルチルドレン」については、統合したことの良いが表れていて、感動したという趣旨のメッセージを多くいただきました。



写真上右
わかばの発表
「おおきなかぶ」

写真上左
わくわくお話隊の皆さん
写真では見えませんが、ステージ下には、オカリナを演奏されたどんぐりっこの皆さん、ピアノ、チェロの奏者の方の姿もありました。

写真左
全校合唱の一場面
ダンスや独唱も入りました。

第一回わんぱく相撲大会

九月五日(金)



1～4年生の声援を受けて熱戦を展開する5年男子の部。
また、町内の各神社で奉納相撲が行われるところもありました。それぞれの地区の子どもたちが参加しました。

昨年度まで掛合町わんぱく相撲大会として開催されていた大会を、校内大会に位置付けて継承します。第一回となる大会は、まだ残暑の厳しい中での開催となりました。五、六年生が男女別に個人戦(トーナメント戦)と三人勝ち抜き戦を行いました。

この大会を実施するにあたっては、景山英好様、土山幸延様、小川浩平様、松村直樹様、高橋司様、石飛登好様に事前の指導や当日の審判、進行等でお世話になりました。

わんぱく相撲大会
個人戦(トーナメント戦)(敬称略)

○五年女子の部

一位大島日菜子 二位高尾真友

○五年男子の部

一位永瀬敬吾 二位石飛大暉

○六年女子の部

一位白築美聡 二位松村由佳子

○六年男子の部

一位小畑宏輔 二位三浦航太郎

その他の主な活動等

☆ 雲南市小体連ミニバス大会

十月十七日(金)に本校体育館を会場にして、中規模校の部の試合が行われました。夏休みから練習を積んできた五、六年生が出場しました。男子は二勝で最優秀賞、女子は一勝一敗で優秀賞を獲得しました。

フリースロー大会の上位入賞者

(敬称略)

○男子の部

三位 石飛成馬(五年)

○女子の部

三位 小川桃果(六年)

四位 宍戸由佳(六年)

また、前日には壮行会が行われ、四年生がリーダーになって、出場する五、六年生の選手(全員)にエールを送りました。



☆ 一日フリー学習公開

十月二十三日(木)に、朝の活動から五校時までのどの時間帯でもご覧いただける学習公開を行いました。共通に公開する学習として「性に関する学習」を公開しました。放課後には、学級懇談の時間をもちました。

☆ 四校連携「掛合町アウトメディアプロジェクト」

掛合保育所、掛合中学校、三刀屋高校掛合分校と本校の四校園は、狭長一帯にある教育・保育機関として今年から今まで以上に、連携を深めていこうとしています。その一環として、アウトメディアの取組みを実施することになりました。テレビやビ

デオ、DVD、テレビゲーム、携帯型ゲーム、パソコン、携帯電話などのメディアを上手に利用することにも、それらが及ぼす負の影響から脱け出そうという取組みです。

☆ 出雲教育事務所訪問指導

子どもたちのより良い成長を目指し、学習指導の改善を核とした校内研究の取組みを行っています。十月八日(水)には、第三学年の社会科学習指導について、同二十九日(水)には特別支援学級における支援、指導について研究授業と協議を指導主事を招いて行いました。



写真は、第3学年社会科の公開学習の一場面。

☆ ほほえみタイム

朝の読書の時間に読み聞かせをしてもっています。この時間帯

ほほえみタイムと名付けています。毎週金曜日に一、三年生が聞かせてもらいますが、最終金曜日は全学年に入ってもらっています。



6年教室での様子。語り手は松村知子さん。

☆ 英語活動

国際理解教育の一環として雲南市内の全小学校で行われている「英語活動」で本校へは、英語活動指導講師の佐藤真由美さん、ARTIのズバイルさん、国際交流室交流員のロジャールさんが来られます。

新しい学習指導要領による新教育課程の本格実施は、平成二十三年度からですが、外国語活動も来年度からの移行期間において、五、六年生を対象にして段階的に始めることとなります。

栄光の跡 輝かしい受賞の数々

夏休み前～2学期 (敬称略)

第44回 島根県硬筆書写コンクール

金賞	1年 田部翔大		
	2年 藤坂有加		
	3年 田部 佳		
	4年 深津里紗		
銀賞	1年 岩本春稀 樋口昌也	落部健太郎	佐藤儀一
	2年 森山羽乃		
	3年 石飛優花 高尾拓海 松村涼大	板垣志摩 洞ノ上陽貴	奥井駿太 本間みゆき
	4年 安食拓哉 落合志帆 藤原由華	板垣志歩 白菊帆乃佳	大井理彩子 都間佳音
	5年 石飛大暉 樋口陽子	大島日菜子 藤原蒼志	田部 亮
	6年 小田晃輝 藤原秀光	宍戸由佳 藤原美優	白築美聡
銅賞	1年 板垣奏絵 願永拓朗 名原立晟 横貝伸樹	大野拓巳 坂口陽希 福場健矢	影山月南 仲山 翠 藤原紗奈
	2年 大井希実子 茂富美琴 永瀬一宇 堀江美月	景山晴希 白菊湧大 中村凌也 鈴木亜紗	片石裕梨 土谷龍世 藤原大己
	3年 飯塚成希 白築浩太郎 福場未唯 井上弥生子	石飛朱海 白築茉莉子 横田結子	落合成美 田部沙織 渡部真綾
	4年 大野汰一 願永大地 永瀬七夏海	小田優華 北尾和也 松村 涉	勝部学美 茂富 楓 森山梨仁
	5年 石飛文香 陶山拓郎 福田 誠	景山優志 高尾真友	加瀬部瞳 田部有沙
	6年 落合健斗 堀江謙公 三浦航太郎	加瀬部愛 松村研大 森山恵利果	永瀬恭介 松村由佳子

平成20年度雲南市科学作品展

特選	6年 落部翔伍	「ソーラー電池の研究」
入選	1年 横貝伸樹	「けっしょうをつくろう」
	1年 福場健矢	「あさがおのかんさつ」
	3年 景山祐夢	「今、地球があぶない!!君ならどうする? ~大気おせんと温だん化について~」
	4年 山毛翔太	「氷の変化」
	4年 板垣志歩	「夏の野菜、水分はどれだけ出てくる?」
	4年 横貝成樹	「手作りカメラにちょうせん」

平成20年度雲南市図画コンクール

県入選	1年 佐藤 歩 高尾楓花	景山月南 板垣奏絵	落合リニフィル 佐藤儀一
	2年 朝山 柊		
市入選	1年 願永拓朗 千葉彪雅	福場健矢 石飛俊哉	岡田明莉
	2年 中村凌也		
	3年 石飛朱海 井上弥生子	永瀬開斗	奥井駿太
	4年 永瀬七夏海 片石春名	藤原弘明 都間佳音	勝部学美 白菊帆乃佳
	5年 石飛成馬 藤原蒼志	石飛大暉 白築信右衛門	高尾真友
	6年 藤原美優		

第4回雲南市読書感想文コンクール

最優秀賞	2年 原 悠仁
優秀賞	3年 福場未唯 5年 福田 誠
優良賞	1年 横貝伸樹 4年 横貝成樹 6年 加瀬部愛

第11回島根県学生児童発明くふう展

島根大学産学連携センター長賞	6年 藤原孝光 「リモコン電球」
努力賞	2年 景山晴希
	4年 願永大地

写真右 掛合分校を訪問した留学生が本校にも訪問に。
 写真左 プール使用の最終段階で「着衣泳」の体験。



より落ち着いた学校生活を送るために
 生活時程の変更について

教務主任 田坂美和子

二学期始業式の日、保護者の皆様へ、二学期以降の生活時程の変更についての文書を配付いたしました。年度途中の変更となりましたが、変更するに至った理由をご説明いたします。

開校初年度の一学期、子どもたちは新しい仲間とともに、新しい環境に柔軟に適応しながら学校生活を終えることができましたが、一方で、とまどうことや大変だと感じることが出てきたように思いました。学校としても、一学期の教育活動や学校行事等の反省を夏休み中に行い、職員会議を重ねてきました。その一つとして、五校時あるいは六校時終了後からバスの発車時刻までの時間があまりないため、非常に慌しいリズムで子どもたちが過ごさなければならぬ状況についての懸念が浮かび上がってきました。しかし、中学校や保育所のバス時刻との関連もあり、バス時刻を変更することはできません。一学期の反省を生かし、児童がより落ち着いた学校生活を送るための具体的な改善策について検討を重ねた結果、二学期から、生活時程を変更することにしました。朝活動と業間休憩（二時間目と三時間目の間の休憩時間）を五分ずつ短縮し、

バスの発車時刻までに余裕をもたせるという変更です。業間休憩が短くなりましたが、二学期からは、業間休憩に掛合分校校庭で遊んでもよいことにしたり、前館と後館の間の芝生の中庭を開放し、上履きのまま自由に遊べるようにしたりして、児童の運動量の確保についても考えてきました。

生活時程を変更した二学期の児童の様子を見てみると、下校時に時間的なゆとりができたことで、全体的に落ち着いて過ごせたように感じます。バスの乗降場所に移動する際、廊下を走る児童がぐんと減り、ゆとりをもって移動できているようです。担任からも、一学期に比べてゆったりと終礼ができる、帰りがけに急かすようなことがなくなったという声が聞かれます。また、業間休憩が短くなることについて児童の違和感が強いのではないかと予想していましたが、児童は柔軟に適応しており、時間的な余裕もある様子です。

今後も、児童がより充実した学校生活を送ることができるよう、全教職員で児童の様子をしっかりと見つけ、児童の声に耳を傾けながら取り組んでいきたいと思えます。引き続き、保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

お断り

この稿は、九月末に発行する予定にしていた号に掲載するために、寄稿してもらったものですが、諸般の事情で校報の発行ができなかったため、文末表現などを一部修正して載せました。



芝生の中庭は、1学期の間は芝の生育を保護するため立ち入りができないようになっていました。2学期から開放されると、子どもたちの格好の遊び場、ふれ合いの場になりました。
 現在は養生のため、再び立ち入り禁止です。

編集後記

紙幅の関係で今学期の各学年の活動や子どもたちのいきいきとした様子を充分にお伝えできませんでした。やはり、毎月発行しないと追いつかないと反省しきりです。

立冬以後、小学校周辺では薄っすらとした積雪があったり、みぞれが降ったりもしましたが、総じてしのぎやすい十二月ではなかったかと思えます。このところ、溶連菌やマイコプラズマによる感染症が発生しています。インフルエンザにも充分ご注意ください。

明日からの冬休みが、子どもたちにとって有意義な、そして楽しい思い出のたくさん詰まったものとなりますよう願っています。

来たる年が良い年でありますようにお祈りいたします。

(富)